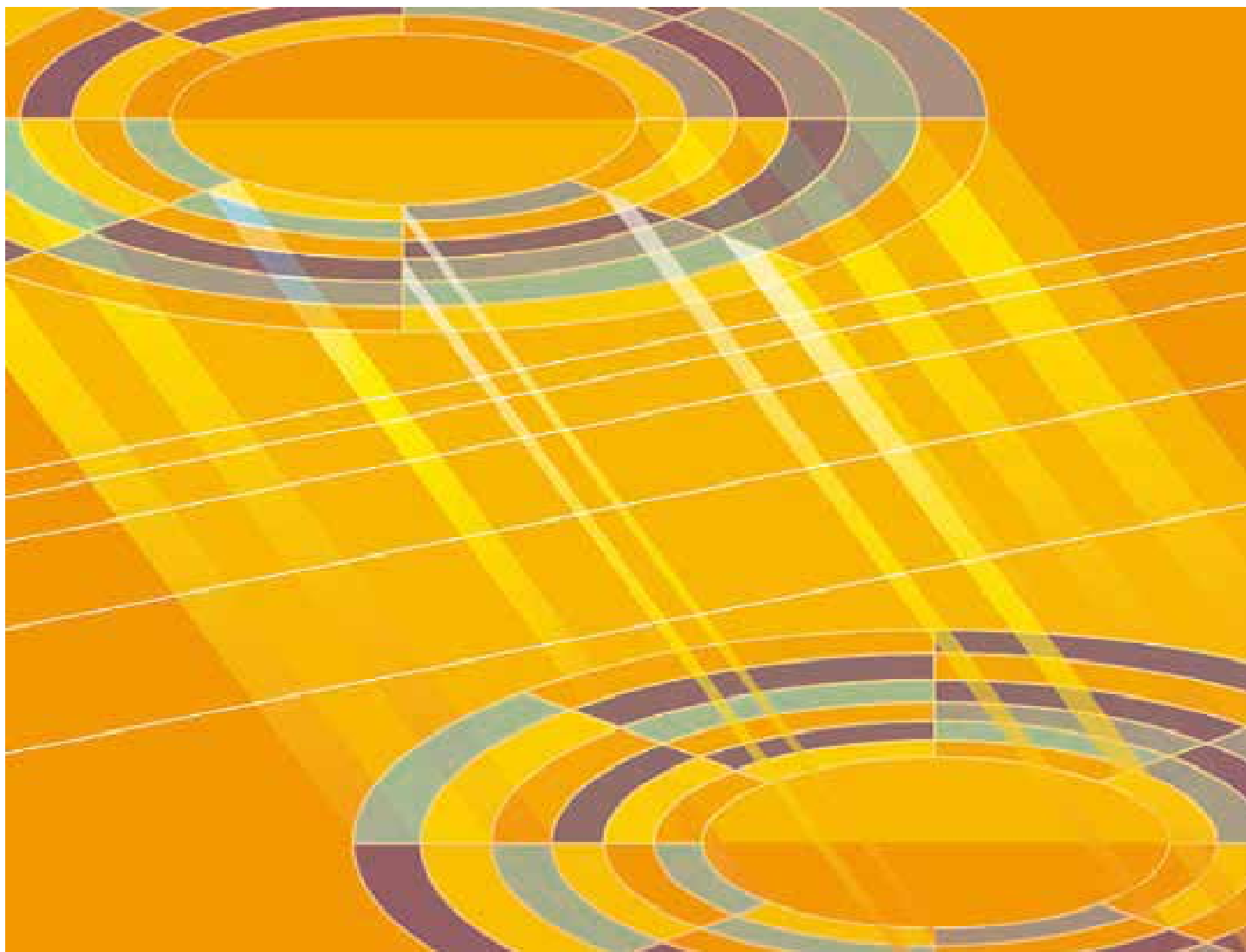


ストレージエリアネットワーク対応

HULFT-SAN



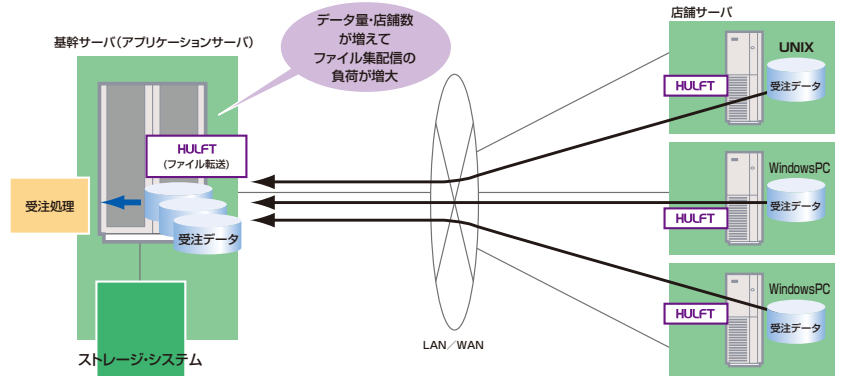
HULFT-SANは、こんなお客様に最適です。

CASE 1

「夜間バッチ処理でお困りのお客様に」

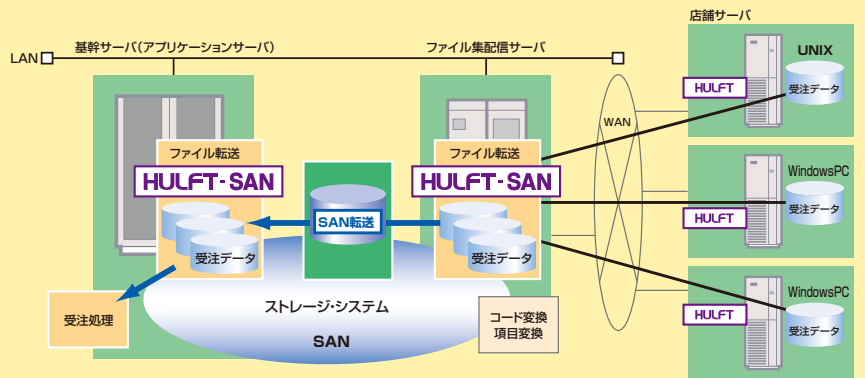
導入前

- 一店舗あたりのデータが1MB程度から数10MBに増大、さらに店舗数も膨れ上がったため、転送データ容量が急激に増加した。
- 転送データ容量が増えたため、夜間はおろか一日では処理できなくなってきた。
- 転送時、LANや基幹サーバへの負荷が大幅にかかっている。



導入後

- ◆ LAN上の負荷を大幅に軽減し、ファイル集配サーバと基幹サーバとの大量ファイル転送を高速化!
- ◆ SAN転送を行っていないHULFTともシームレスに連携!
- ◆ ディスクアレイをデータの格納庫としてだけでなく、通信路としても有効活用!



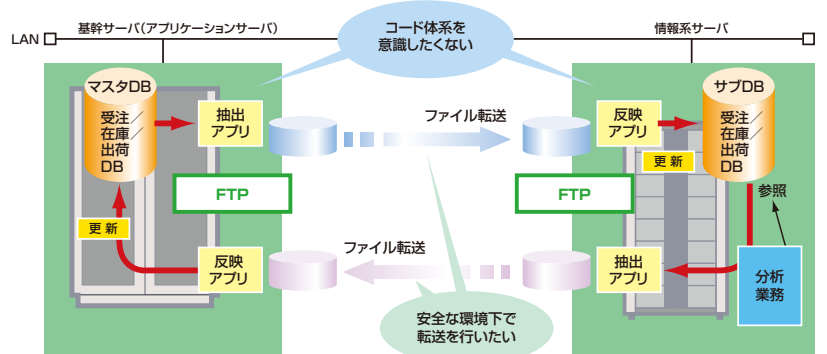
ファイル転送時のシステム負荷を大幅に軽減

CASE 2

「データ転送時のセキュリティが不安なお客様に」

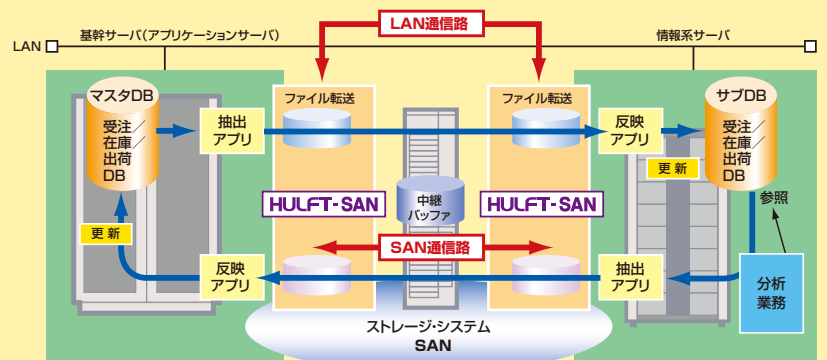
導入前

- FTPを使用して転送しているため外部からの不正アクセスやデータの漏洩の危険性がある。
- 万が一の時に備え、データ転送経路を二重化し、安定性を高めておく必要がある。
- 基幹サーバと情報系サーバ間で異なるコード体系を意識しなくてはならない。



導入後

- ◆ ファイル転送路にディスクアレイを使用するため、第三者による不正アクセスを防止し、データの安全性を強化!
- ◆ SAN転送が正常に行えない場合、自動的にLAN転送に切り替わり転送経路の二重化を実現!
- ◆ シームレスにコード変換を行えるため、コード体系の違いを意識することなく運用が容易に!



安全な環境下で大容量データの高速転送を実現!

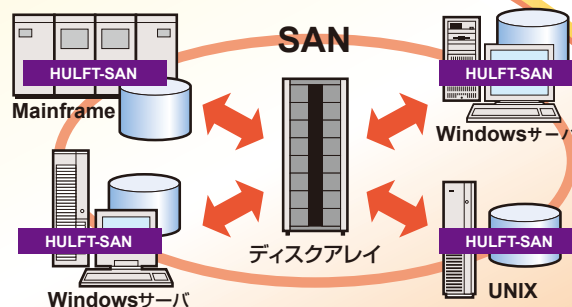
「転送データ容量の増大によりLANに負荷がかかる、
データ転送の安全性に不安がある。」

HULFT-SAN はそんな課題を一挙に解決します。

HULFT-SANとは

HULFT-SANは、お客様のさまざまなご要望にお応えします。

- 大量データを高速で転送したい。
データが日々増大しているが、
ネットワーク負荷をかけずに転送を高速化したい。
- 高いセキュリティの下で転送を行いたい。
重要なデータを扱っているので、
安全な環境下で転送を行いたい。
- データ転送の安定性を高めたい。
万が一のために、データ転送経路を
二重化しておきたい。
- HULFTの機能・操作性も充分活かしたい。
現在HULFTを活用しており、そのまま有効に使いたい。



HULFT-SANは、ファイル転送ミドルウェア「HULFT」に、ディスクアレイ上の共有ボリュームを介したファイル転送[SAN(Storage Area Network)転送]機能を付加した製品です。「HULFT」の各機能・操作性はそのまましながら、LAN環境では実現できなかった、ストレージ装置を利用した大量データの高速度転送を実現します。マルチプラットフォーム対応はもちろんのこと、転送条件/状況に応じて、SAN転送、LAN転送を自在に使い分けられる自動運用が可能です。

HULFT-SANは、SAN環境の性能を最大限に引き出します。

HULFT-SANの特長

■ ディスクアレイを利用した高速転送

データ転送がSCSIまたはファイバチャネルで接続されたディスクアレイ上の共有ボリュームを介して行われます。LANへ負荷をかけずに大容量ファイルを高速に転送することができます。

■ 転送経路を二重化

SANに加え、LAN転送を使用したデータ転送を行うことができます。何らかの理由でSAN転送が正常に行えない場合は、自動的にLAN転送に切り替わり、その理由が表示されます。またあらかじめ、SANまたはLANの転送方式を選択することも可能です。

■ セキュリティ強化

データ転送がSAN環境の中だけでやり取りされ、LANを経由しないので、外部からの不正アクセスによるデータの改ざんや漏洩を防止でき、データの安全性を強化します。

■ HULFTとのシームレスな連携

SAN転送を行っていないサーバとも、HULFTを利用することでシステム間連携を容易に実現します。

■ メインフレーム側のCPU負荷を軽減 ※1

メインフレーム側からはデータ転送に関するファイルの入出力が行われないため、メインフレーム側にCPU負荷をかけない高速転送を実現します。

※1 日立製作所製ディスクアレイと連携時のみ適用

■ 容易な運用管理と運用コスト削減

HULFTの運用管理機能を継承していますので、HULFTと同様に容易な運用を実現。また運用管理を一元化できるため、TCOの削減にもつながります。

■ SANの有効活用

SANを単にサーバ⇄ストレージ間のデータアクセス経路としてだけではなく、ストレージを経由したサーバ間での転送が容易に実現するため、ネットワーク経路として有効活用できます。

■ クラスタ対応 ※2

クラスタ構成を組むシステムで転送が可能です。障害発生時の影響を最小限にとどめ、システムの安定性・運用性をさらに高めた転送を実現します。

※2 対応する機種はお問合せください。

■ HULFT-SAN Ver.6 製品ラインナップ

製品名	通信基盤	対応ディスクアレイ メーカー名(※3)	対応通信(※4)	機種(※3)
HULFT-SAN Ver.6 with Storage Access Kit	【通信基盤付】 SAN環境データ転送ソフト 「XLデータムーバ」(※1) のSAN通信基盤を同梱	富士通株式会社	MF-OP間 OP-OP間	Mainframe
				UNIX
	株式会社日立製作所	OP-OP間		Linux
				Windows
HULFT-SAN Ver.6	【通信基盤無】 「XLデータムーバ」 (※1)が必要	富士通株式会社	MF-OP間 OP-OP間	UNIX
				Linux
				Windows
	株式会社日立製作所	OP-OP間		Mainframe
				UNIX
				Linux
		Windows		

※1 「XLデータムーバ」は、各サーバにあるファイルを、LANを使用せずにディスクアレイを中継バッファとして利用し、双方間のデータ転送を実現する富士通製ソフトウェアです。

※2 「FAL HULFTオプション」は、HULFT-SANと連携して、Mainframe-オープン系システム間でデータ交換を行うことができる株式会社日立製作所のオプション製品です。

※3 対応ディスクアレイ・OS、価格等についての最新情報、詳細につきましては弊社Webサイト(<http://www.hulft.com/>)をご覧ください。

※4 MF : Mainframe、OP : オープン系(UNIX/Linux機およびWindows)

[お問合せ先]



株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:30~17:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

URL www.hulft.com e-mail info@hulft.com

この小冊子の記載内容は2014年4月現在のものです。本小冊子の記載内容は予告なく変更することがあります。